

南流山中学校移転基本設計(案)に係る意見交換会(報告)

開催日時：令和3年12月11日(土) 午前10時から11時30分

開催場所：南流山センター 大ホール

参加者：24名

配布資料：パブリックコメント公開資料

- ・南流山中学校移転基本設計(案)
- ・スケジュール(予定)
- ・概算事業費

意見交換の概要：

配布資料を元に、計画について説明を実施。

以下、出席者からの質問・意見等と、主催者側からの回答

(意見)

- ・「42学級」という表記には、特別支援学級が含まれていないが、なぜか。
- ・その他エリアに私立の中学校が来るといふ話は事実か。
- ・概算費事業費について、土地取得に係る事務費も含まれているのか。

(回答)

- ・教育委員会では毎年5月に今後6年先までを見通した「児童・生徒数推計及び想定値」を作成している。南流山中学校の生徒数は、引き続き増加する見込みである。42学級については、時間割を勘案して、中学校で授業運営可能な学級数を最大42学級としており、これに加えて、特別支援学級5学級を想定し、中学校の最大規模では、合計47学級としている。
- ・私立の学校法人から借りたいという申し出はあるが、決定はしていない。
- ・事務費は概算事業費に含まれている。

(意見)

- ・プールのコース数とグラウンドの大きさは今と同じか。

(回答)

- ・プールについて、コース数は今の南流山中学校と同じ(25m×6コース)である。グラウンドについて、今の南流山中学校よりは狭くなるものの、運営上必要な面積を備えている。

(意見)

- ・部活動等での活動は継続して確保できるか確認しているか。

(回答)

- ・基本的に今ある部活動は継続していく方針であり、運営上問題ないと考えている。

(意見)

- ・駐輪場の数について狭く感じた。生徒数に応じた数なのか。

(回答)

- ・駐輪場の数については、自転車の通学許可範囲を勘案して必要な駐輪場を整備する予定である。

(意見)

- ・駐輪場台数について、不足していると感じる。将来的に3学年で900人以上の生徒がいると考えられ、全員が自転車通学しないとしても、450台は少ないように感じる。根拠は。

(回答)

- ・駐輪場の450台については、開校時において、学校から1.7 km以上の距離となる通学域の生徒数を算定し、設定している。

(意見)

- ・南流山中学校は、市内最大の中学校となる。超過大規模校であり、文部科学省ではこれを解消すべく通知されている。プールはこれで足りるのか。
- ・駐輪場台数については、私も不足していると感じる。また、バス通学と言う案はどう考えているか。

(回答)

- ・プールの大きさについては、25m×6コースで、学校運営上支障ないと考えている。
- ・学区を想定している移転後の最遠の直線距離でも2.3 kmであり、それより遠距離の通学区域となる、他の中学校でもバス通学を導入しておらず、スクールバスは考えていない。安心安全な通学となるよう学校長含め十分配慮し、指導していきたいと考える。ご協力をお願いしたい。

(意見)

- ・スクールバスについて、東洋学園大学が実施していたような民間バスの利用は考えているか。
- ・職員用駐車場はあるのか。
- ・特別支援学級の子が安心できる教室の配置となっているのか。普通教室との行き来に配慮しているか。
- ・相談室の位置は、この場所で適切か。

(回答)

- ・民間のスクールバスについては現時点では考えていない。
- ・職員用駐車場を敷地内に用意する予定はない。個別で近くの駐車場を借りてもらうことになる。
- ・特別支援学級、相談室など、諸室の配置は、学校の先生方の意見を聞いたうえで計画している。

(意見)

- ・通学路の安全性について、流鉄流山線 17 号踏切周辺では、自動車の制限速度が高い。ゾーン 30 にして制限をかけてはどうか。このことは既に提案している。
- ・鯖ヶ崎駅付近は道も細く危険。警察も含めて交通安全についての説明会、意見交換会などを開催できないか。

(回答)

- ・危険性の高い箇所は報告も受け把握している。安全面については例年 5 月に警察や関係部署と一緒に合同点検を行っており、対策を進めている。子どもたちの見守りにご協力いただき大変感謝している。引き続き地域の皆様に見守り協力をお願いしたい。

(意見)

- ・通学路の安全対策について、整備完了とホームページに書いてあるが、本当に整備完了しているのか。安全に対してどのように対応しているのか。地域住民等との問題意識の具体的共有を図るため、協議会等を開催してほしい。

(回答)

- ・各学校から報告されている部分に関しては完了していると受け止めている。他に何かお気づきになった際には、引き続き皆様からご意見をいただきたい。
- ・協議会等の開催については、検討したい。

(意見)

- ・本会の周知方法について不十分ではないか。早く丁寧な方法で周知してほしい。
- ・自転車の通学ルート案があれば教えて欲しい。
- ・スクールバスについて、前例がないからやらないということではなく、住民の要望も多いので、流山市として対応をぜひ検討してほしい。
- ・悪天候時等における送迎用駐車スペースは敷地内に設けないのか。必ず車による送迎が想定できる。その際には近隣住民の方や車利用の住民の方の負担になると思う。
- ・コミュニケーションスペースはただの廊下とならないか。既存の大学施設には、通常カフェテリア等があると思うので、これを活用できないか検討してほしい。

(回答)

- ・本会の開催については、「広報ながれやま（令和3年11月21日号）」及び市ホームページで事前に周知している。また、「学校施設だより（令和3年12月1日号）」を発行し、南流山中学校区の小学校、中学校及び自治会に配布し、お知らせしている。
- ・自転車の通学ルートは、流山都市計画道路新川南流山線と鱈ヶ崎陸橋先を基本的に考えている。ただし、最終的には学校長の判断で決めていくという形になる。
- ・スクールバスについて、（前述と同様）現時点では考えていない。また、生徒数から、バスを何十台も用意するか何往復もしなければいけない。停留所など場所の確保も困難である。
- ・通学時における送迎専用の駐車スペースを確保することは考えていない。
- ・コミュニティスペースについては、既存大学の広い廊下を活用した計画であり、また、集会室など生徒の多様な活動に利用できるスペースを計画している。

(意見)

- ・自転車ルートについては、私たちでもっと安全なルートがあると考えているので、後ほど伝えられたらと思う。通知の方法は、自治会に対しては学校から案内が行くようにしていると言うが、実際には来ず、学校から自治会にというコミュニケーションパスがあるようには思えない。日々の回覧や自治会長に直接連絡する方法が適切だったのではないかと考える。木地区自治会との意見交換会の開催も検討をお願いしたい。

(意見)

- ・バスについて皆様の意見に同じである。
- ・これから入学する子供たちの保護者への説明会というのは一回も開かれていない。アンケートでは答えたが、大きな説明会は今後もない予定なのか。生徒及び保護者を対象とした説明会は一切しないのか。

(回答)

- ・南流山中学校の移転の計画に関するご意見を聞く機会としては、タウンミーティングを実施してきており、改めて説明会を開催する予定はない。本会は、基本設計の案に係る意見交換会の開催であり、事業の進捗状況に合わせて公表できる情報は積極的に発信していきたいと考えている。開校に当たっては、生徒及び保護者の入学前説明会を別に実施する。

(意見)

- ・文部科学省の基準に関しての質問の回答がなかったので回答願う。47学級というのは過大規模校ではないか。昨年市内中学校の2名の生徒が自死しているが、本当に生徒を見守ることができる適切な教育環境と言えるのか。文部科学省も改善の方針としている中で、なぜ流山だけがただ数にこだわるのか。
- ・先生用の駐車場は自ら支払うのか、市から補助金が出るのか。
- ・特別支援学級の教室の位置について、本当に現場の先生の意見が入っているとは思えない。42学級の中に5学級が含まれていないのは驚き。本当にインクルーシブ教育のことを考えた設計、発信の方法であったのか。

(回答)

- ・47学級について、先ほど申し上げた通り、教育課程等を考慮し、学校運営上可能であると判断している。見守りに関しては、学校は各先生方がチームになって動いている。細々としたところまでお互い情報共有をして子供たちが安心して過ごせる学校生活を提供するのが、私共の責務であると考えている。生徒が増加するに従って、職員の配置も増える。市のサポートや、様々な市の職員も手厚く配置する方針とし、少しでも対応していこうと考えている。ご指摘はしっかり受け止める。
- ・職員用駐車場については、敷地内に設けることとしてはいない。職員の申請する通勤手当の中から精算して頂くことになる。他校でも学校や先生個人が駐車場を借りている。
- ・特別支援学級については、先ほども申し上げた通り、現場の先生方の意見を踏まえたうえでの配置としている。2階は通過動線となるため、落ち着いた空間となる1階配置が適切と判断した。

(意見)

- ・雨の日の通学は自転車を運転していいのか。雨天時の通学、送迎に関して不安に思う。
- ・説明会について、実際に通う方を対象とした説明会を開催してほしい。

(回答)

- ・雨天時の通学について、市内の中学校では、雨の日でも自転車を利用している。ただし、台風や豪雨などの悪天候時は、その限りではない。自転車通学する生徒については必ず交通安全教室を開き指導したい。
- ・説明会については、入学前に、生徒及び保護者に対して実施する予定である。

(意見)

- ・私立の中学校と並んで公立の中学校ができるということで、南流山中学校の子供たちが、私立の子供たちに対して劣等感を抱かないで、幸せな学校生活を送れるのかというところを考えて欲しい。
- ・最大47学級となるのであれば、敷地の空いている土地を貸すのではなく、南流山第一中学校と第二中学校が並列するような、二つの中学校が設置される形でも良いのではないか。
- ・自転車通学について、鱈ヶ崎地区は道路が狭く、徒歩の小学生と自転車通学の中学生が接触することのないルートを考えて欲しい。

(回答)

- ・私立の中学校と並んで設置する場合でも、私立の教育に劣らない教育を行っていくという意識で、私たち職員も学校運営に努めていく。
- ・自転車通学については、動線が交錯することにより危険がないように対策を講じていく。
- ・学校運営可能なエリアとして「中学校エリア」を設定している。現在のところ、2つの中学校に分ける予定はない。

(意見)

- ・校庭が狭く感じる。その他エリアを貸さないで利用するという事はできないのか。

(回答)

- ・「中学校エリア」にて学校運営できると判断し、計画している。

(意見)

- ・ 体育の授業の致命的な欠陥について、週に1回は体育館での授業をしないといけないが、40学級以上あるとそれが実施できない。これは重大な問題であって、体育館は二つあるべきだ。しかも思春期の運動の問題となると極めて重大、一週間に一回の授業もできず、部活もろくにできない。個人的に何度も教育委員会に申し上げたが、武道場があるからいいなんて、教育委員会は何を考えているのか。私立学校に貸し出す体育館のほうが大きいとは。市公立校を優先させたいうえで、貸し出すことを検討するなど、教育委員会は市に対してこの点を含め必要なことを要求すべき。教育委員会は保護者の意見を聞いて南流山中学校の教育に真摯に向き合っていくべき。

(回答)

- ・ 学校法人から借りたいという申し出は受けているが、貸すということは決定していない。
- ・ 体育館及びグラウンドを使用することで体育の授業の実施は支障ないと考えている。

(意見)

- ・ 雨の日の自転車通学について、入学説明会で説明するという事だが、初めての自転車通学ということもあるので、雨天時のこと、荷物のこと、交通の安全のことなどを入学説明会よりも前に知りたいと思っている。
- ・ A棟の昇降口の位置はどこか。
- ・ E棟の既存エレベーター2機について定員を知りたい。
- ・ コミュニケーションスペースの廊下に制服をかける場所はあるか。

(回答)

- ・ 雨の日の自転車通学について、移転する前年度から、できる限り早い段階で情報発信していけたらと考えている。
- ・ A棟昇降口は職員室近くに配置されており、近くの階段を通じて教室に移動する。
(スクリーン上で説明)
- ・ E棟の既存エレベーターの2機の定員は11人と15人である。
- ・ コミュニケーションスペースを含め、学校生活に必要なスペースは確保する方針である。

(意見)

- ・地域との交流スペースはあるのか。
- ・地域と交流する仕組みはあるのか。ボランティア活動をしようとする方にも有益な仕組み、情報提供をしてほしい。

(回答)

- ・A棟2階にPTA室兼地域連携室を設置することとしており、地域交流にも活用できる。
- ・市内各中学校区で地域学校協働本部という組織が設置され、ボランティア活動に取り組んでいる。地域と学校がより繋がれるように、今年度からコミュニティスクールを立ち上げている。地域と学校が目標を同じくして、取り組みができるような仕組みづくりをしている。